TTC 定例山行実施記録表

2011年2月8日　報告者:佐藤　清

山行名	**奥多摩高水三山**（高水山 759m、岩茸石山 793m、惣岳山 756m）[東京都]
実施日	2011年2月5日（土）　日帰り　　公共交通機関利用
天候／参加人員	天候:晴れ　　レベル:★☆　　参加人員:　17 名（男 10 名/女 7 人）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	CL:　SL:　会計:　救護／計画:　　氏　名　削　除
参加メンバー	A 班　☆ B 班　☆　　氏　名　削　除 C 班　☆
費用 **￥2,190** （本厚木から）	（行き）小田急　本厚木～町田 @¥240×2＝¥480　ＪＲ町田～八王子～立川～青梅～軍畑 @820 （帰り）JR御嶽～青梅～立川～八王子～町田　@　¥890　交通費計¥2,190 （注）交通費は全て各自支払い（集合:町田駅／解散:流れ解散）

歩行・行動時間

	歩行時間	休憩時間	行動時間
ガイドブック	4:10		
計画	5:20	1:40	7:00
実行	4:01	1:23	5:24

行動時間比(実行／計画) 0.77
歩行時間比(実行／計画)　0.75
歩行時間比(実行／ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ)　0.96

実行コースタイム記録

JR 横浜線　JR 中央線　JR 青梅線　JR 青梅奥多摩線　0:25　0:35　0:27
本厚木＝＝町田＝＝＝八王子＝＝＝立川＝＝＝＝＝青梅＝＝＝＝＝軍畑・・・・・高源寺・・・・・・・560m付近・・・・・・・・
6:35　6:51 6:58　7:23 7:26　7:36 7:51　8:24 8:26　8:38～8:55　9:20～25　10:00～10
0:08　《写真》0:30　《昼食》　0:42　0:47　0:23　0:04
高水不動尊・・・・・・・・高水山・・・・・・岩茸石山・・・・・・・惣岳山・・・・・・・31 号鉄塔・・・・・・・・・登山口・・・・・・・・・御嶽駅
10:37～47　10:55～10:58　11:28～12:05　12:47～13:00　13:47～57　14:20　14:24　14:28
JR 奥多摩線　JR 青梅線　JR 中央線　JR 横浜線
＝＝＝青梅＝＝＝＝＝立川＝＝＝＝八王子＝＝＝町田
14:45 15:54　15:22 15:33　15:43 15:49　16:11

コースの概要、特記事項、反省事項等

ガイドブックによると奥多摩の高水三山は駅（軍畑）から歩くことができ 4 時間ぐらいの山登りを行い下ったところが駅（御嶽）で、手軽で交通便利なハイキングコースとして人気が高いようだ。

日本の地名等の呼び名は分かりづらいが、軍畑駅を最初は『ぐんばた駅』と呼んでいた。インターネットで由来を探したら『戦国時代の永禄 6 年（1563 年）、多摩川上流域を支配し、辛垣城（からかいじょう）に拠る三田氏と、八王子付近一帯を支配する滝山城主北条氏が、多摩川を挟んで激戦を展開した「辛垣の合戦」の戦場にちなみ『いくさばた』というのだそうだ。

八王子から立川へ行く電車でTMさんが眠って乗り過ごしてしまった。立川駅で連絡がついたがリタイヤの申し出があり、18名から1名減って17名での山行になった。

天気は良く暖かく、軍畑駅前の売店でチョコレートを買ったときに気温を聞いたら7℃とのこと。昨日、YMさんが青梅市役所観光課に確認したところによると「雪はありませんが、凍っているかもしれませんのでアイゼンは持って行ってください。」と言われたそうだ。この分ではアイゼンを履くチャンスはないと思った。折角この時期に来たのだから、アイゼンの履いて歩く練習をしたかったのに残念である。

駅をでて線路沿いに左手へ歩いてすぐの遮断機のない踏み切りを渡り、道路へ降りて行き、暫くは道路歩くことになる。平溝橋の手前の細い道を左に入る。要所に看板があるので、間違うことはない。

駅から舗装された道を25分ほど歩くと高源寺がある。ここの入口手前にトイレが1つあるが故障中で使えなかった。砂防ダムから高水山まではしっかり道が整備をされているが、ズ～と登りの山道だ。（ちなみに、本日の山行コース全て山道が整備されていた。）高源寺から休憩を1回入れて 1 時間 20 分ぐらいで常福院に着いた。皇太子ご夫妻も結婚1周年（1994年6月）を記念して高水三山を登った際に、このお寺に立ち寄ったと書かれた、立派に記念石碑が建っている。本堂前には木製の大きな刀が3本置かれている。常福院には立派な東屋や境内の裏手にはトイレがある。ここから若干急な登りを 8 分ぐらい歩けば高水山の頂上だ。高水山は山頂からの眺望はほとんどなく記念写真だけを撮って岩茸石山に向かうことにした。山行計画では、ここで昼食の予定だったが眺望が良くないし、11時前だったので次の岩茸石山に変更をした。

高水山から惣岳山までの山道は、しばらく雨が降っていなかったからか歩くと土埃が立ち、こんなときは先頭を歩いていて良かったと思う。

高水山から岩茸石山は、距離は短く山頂直下の巻き道（惣岳山、御岳駅方面）を直進し、若干ハードな登りが待っている斜面を登ると景色が堪能できる山頂に着く。ここで、思い思い昼食の大休止とする。岩茸石山の道標の上部に直径 1cm ぐらいの丸い穴が開いていて、すぐ下に『↑棒ノ折山のぞいてみよう』と手書きで書いてある。目を当てると、円の中央に棒ノ折山が見えた。

岩茸石山からの直下は急な下りだが、直ぐに歩きやすいなだらかな尾根道となる。40 分ほどの歩きで、惣岳山直下に着くが、ここにも巻き道がある。直進をして急斜面を上り詰めれば頂上だが、岩茸石山の山頂直下の急坂より距離も短く坂も急ではなかった。しかも、この山頂は高水山より眺望がなく、金網に包まれた青渭神社があった。これで高水三山を制覇した。ここから最初は急な下りだが、足場がシッカリしており、さほど不安は無い。急な下りは「御神域井戸窪」で終わる。ここからは比較的なだらかな下りだ。途中、沢井駅まで1．8kmと御嶽駅まで1．5kmと書かれた道標がある分岐を通過する。ここから直ぐに距離は短いが急な上り坂になる。下りモードになっているので少々きつい。31 号鉄塔で休憩をして、そこから 20 分も歩けば慈恩寺がある登山口にでて、線路を渡って直ぐに御嶽駅に着いた。何とラッキーなことか駅に着いて4分後に電車が来る。この電車に乗って一路、帰宅の途についた。

（反省）

1. 今回の山行でCL（先頭）の歩くスピードが少し早いといわれた。特に下りは少々早かったようだ。登りは、注意して後ろを見ながら登ったが、下りは気がつくと少々遅れ気味の班があった。CLとしてメンバー全員がついてくることができるスピードでなければならない。
2. 帰りの解散は町田駅だったが、駅では人が多かったために流れ解散にした。この情報がいき届いておらず、数名の方は町田駅で待っていた。計画を変更する場合は、班長に伝えて変更事項を徹底しなければならない。

以上